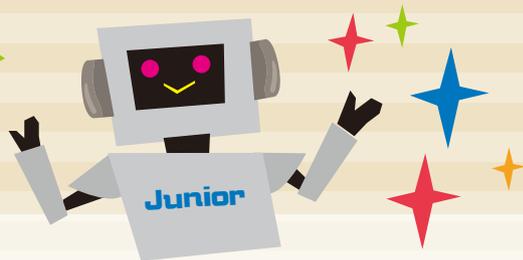


# 集まれ! ジュニア会員!!



2020年3月の本会第82回全国大会にて「Exciting Coding! Junior @Kanazawa」を開催予定でしたが、残念ながら中止となってしまいました。今回は、このプログラミングワークショップに、ファシリテータとして参加してもらう予定だったジュニア会員の作品を紹介し、2017年に開催した「Exciting Coding! Junior」に参加し、普段からプログラミングを楽しんで続けている方です。「Exciting Coding! Junior @Kanazawa」ではプログラミング環境 Scratch と、プログラミング可能な小さなコンピュータである micro:bit を利用した作品制作を予定していたため、その準備として micro:bit を利用した作品に取り組んでもらっていました。

## 作品介绍 神長春花さんの作品 「micro:bit で点字クイズ!!」

<https://scratch.mit.edu/projects/356447016/>

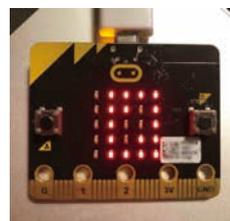
micro:bit の LED 部分に表示される点字の読み方を当てる二択クイズです。クイズでは、micro:bit の LED 部分に四角で囲まれた点字が一文字表示され（図：点字が表示される様子）、Scratch の画面には読み方の選択肢として2つのひらがなが左右に配置されて表示されます（図：選択肢が表示される画面キャプチャ）。解答は、micro:bit の A ボタンと B ボタンを利用します。左の文字が正しいと答えたい場合は A ボタン、右の場合は B ボタンを押します。正解か不正解かは、Scratch の画面と micro:bit の LED 部分の両方にメッセージで表示されます。クイズはランダムにくり返して出題され続けます。点字には1～2年前から興味を持っていたため、点字と micro:bit を組み合わせた作品にしました。



● 作品のスタート画面キャプチャプログラムの一部



● 選択肢が表示される画面キャプチャ



● 点字が表示される様子（これは「か」を表す）

プログラムを見ると、正解が「左」か「右」かで分けて考えているため、同じようなブロックのまとまりが、正解が「左」と「右」の場合の両方に出てきます。選んだ答えを変数を使って覚えるように、正解が「左」なのか「右」なのかも変数を使って覚えておくと、同じようなブロックのまとまりを1つにすることができます。  
(<https://scratch.mit.edu/projects/385700942/>)



こうすると  
もっとういね!



ここがいいね!

micro:bit に搭載されている25個のLEDを点灯し、点字に見立てるのは、とてもいいアイデアですね! 点字に関する知識がなくても、何度もくり返し遊ぶうちに覚えられそうです。興味のある題材をプログラムで表現しようとするのは素晴らしいです。中級、上級のクイズも楽しみにしています。

4回にわたって micro:bit を用いた作品を紹介してきました。micro:bit には今回の作品で利用されている25個のLEDと2つのボタンに加え、加速度センサなどのセンサや外部装置と接続するための端子が搭載されています。コンピュータの中の世界と現実世界とをつなぐ作品制作をぜひ試してみてください。



「集まれ!ジュニア会員!!」の Web ページ  
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/jrlist.html>

参考 Web サイト: Scratch サイト, <https://scratch.mit.edu/>  
micro:bit, <https://microbit.org/>

本企画では、ジュニア会員の方の作品・プログラムを募集しています。氏名、ニックネーム、ご連絡先メールアドレス、会員番号、作品に利用しているプログラミング言語、作品タイトル、作品の説明、こだわったポイントを、以下の宛先までお送りください。

✉ 会誌編集部門 E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp)

担当: 吉田 葵 (青山学院大学)